

3-3 事業実施状況

*次ページから 64 ページまでの表は、以下の点を参考にしてください。

- ・区分欄は、継続事業、拡充事業、新規事業の区分を表示しています。・・・・・・・・・・・・・・・・①
 - 継続**― 現在行われている取組みの内容を充実し、継続するものを表しています。
 - 拡充**― 現在行われている取組みの機会を広げるものを表しています。
 - 新規**― 平成 24 年度（2012 年度）より新規に取り組むものを表しています。
- ・状況欄には実施、一部実施、未実施について ○ △ □ で表しています。・・・・・・・・②
 - ・・・実施 △・・・一部実施 □・・・未実施
- ・「指標」とはそれぞれの取組みの成果を知る目安となるものです。（実施状況に応じて、今後変更になることがあります。）例えば行事の実施回数や参加人数などがあげられます。・・③
- ・「実績」とは指標に該当する回数や人数をさしています。・・・・・・・・・・・・・・・・④
- ・「実施状況と課題」にはそれぞれの取組みの実施状況や課題について、担当部局や団体が執筆しています。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・⑤
- ・取組みへの参加者の声などを記述した項目もあります。・・・・・・・・・・・・・・・・⑥
- ・「関係部局・団体」の名称に○印がついているのは、中心となって取り組んでいるところ
です。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・⑦
- ・平成 25 年度機構改編によって部局名が変わったところは、平成 25 年度以降の名称で表記して
います。（ただし「幼児教育支援センターたんぼぼ（現てしま幼稚園地域子育て支援センター）」は
旧施設名の表記を使用しています）

(表示例)

NO.	事業名	取組の内容	区 分	状 況	指 標	平成 24 年度(2012 年度)実績		関係部 局・団 体
						実績	実施状況と課題	
14	おはなしボランティア活動への支援	資料や場所、活動に必要な情報を提供し、講座の開催など学習の機会を保障する。[153 にも掲載しています。]	継続 ①	○ ②	講座回数／ 団体貸出冊数 ③	8 回 ／ 16,925 冊 ④	「子どもと本をつなぐボランティア講座」受講者はここ数年減少しているが、退職後地域で活動を始めたいという受講者が増えている。男性の受講者もあり修了後活動を続けている。こうした受講者の変化やニーズに合わせて講座の内容を検討していく必要がある。 「おはなしボランティアフォローアップ研修講座」パート 1 では絵本学研究所主催正置友子氏を招き、おもに誕生から 12 歳までの子どもと絵本の関わりについてご講演いただいた。パート 2 は、「日本の民話昔話から都市伝説まで一子どもに伝えていくためにー」と題し、京都学園大学歴史民俗学教授堀田譲氏にご講演ボランティアからの相談に応じて、選書についてのアドバイスや、打ち合わせ場所の提供など、日常的に行っている。千里図書館では、新田南小グループ「お話しのおよよ」に読み聞かせのレクチャーを行った。⑤	読書振興課・図書館・おはなしボランティアポケット ⑦